

都心オフィスビル利用状況観測調査 (新大阪エリア築浅特定ビル：2022年10月期)

2022年11月22日

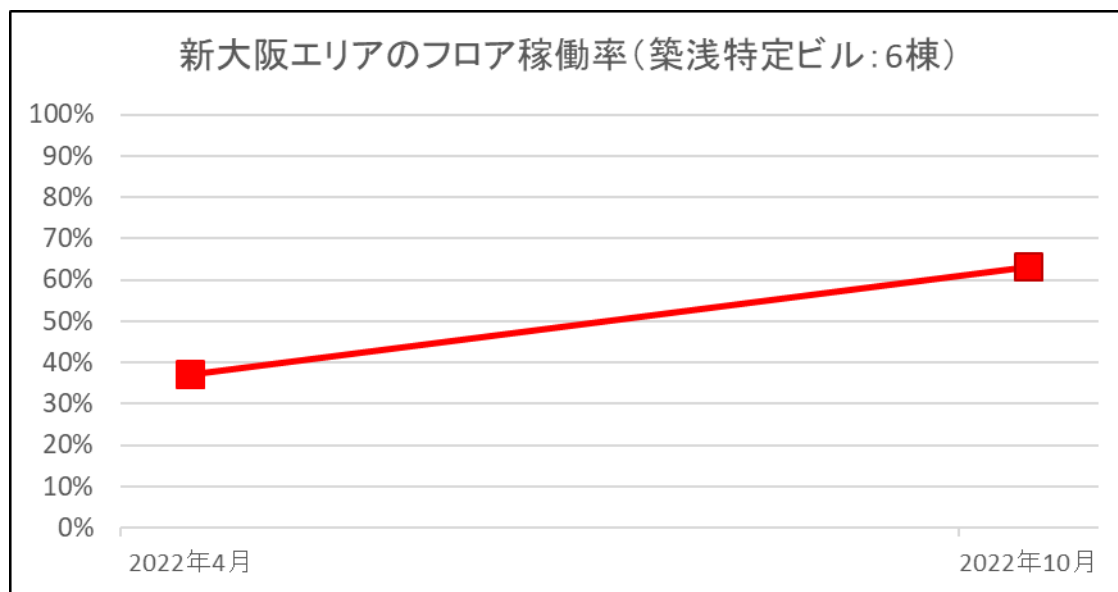
株式会社アークス不動産コンサルティング

■調査要旨

●2022年4月期及び同10月期において、新大阪エリアの築浅特定ビルのフロア稼働率は63%で、前回調査の2022年4月時点(37%)に比べ26%上昇した。

■調査結果：「新大阪エリア(※1参照)」に所在する築浅特定ビル(※2参照)のフロア稼働率(※3参照)を継続調査した結果は以下の通りである(【図1】参照)。

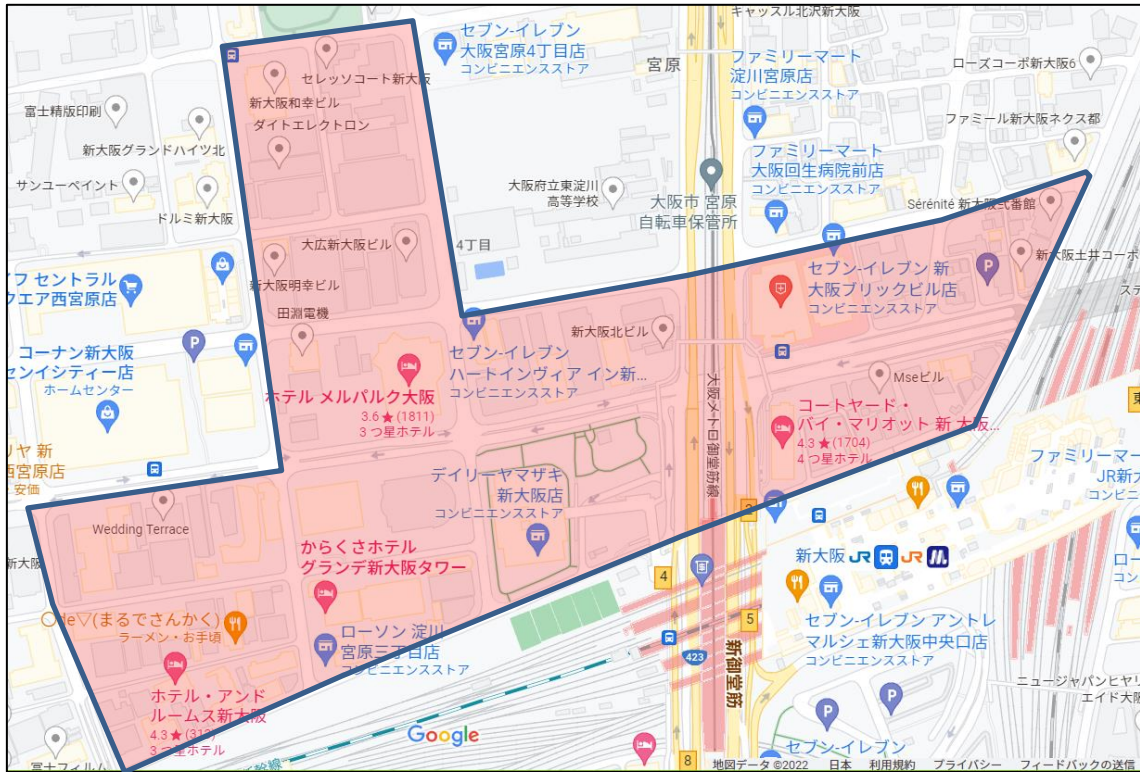
【図1】



	2022年4月	2022年10月
新大阪エリアのフロア稼働率(築浅特定ビル:6棟)	37%	63%

NEWS RELEASE

■参考地図



■調査要領

当社が設定した「新大阪エリア（※1）」に所在する「築浅指定ビル（※2）」の稼働状況（「フロア稼働率（※3）」）について定点観測（※4）調査を行った。

（※1）新大阪エリア：■参考地図記載の網掛け地区（赤色部分）

（※2）築浅指定ビル：①地上7階建以上、②主たる用途が事務所（賃貸用）、③2020年下期以降の竣工という3条件を充たすビル。2022年10月時点で6棟。

（※3）フロア稼働率：1フロアを1単位とし、外観調査などにより入居事業者等が確認できれば稼働状態とみなす。なお、地下階、及び地上階のうち店舗専用フロアなどは調査対象外とする。

（※4）定点観測：2022年以降の4月下旬頃、10月下旬頃としている。

NEWS RELEASE

■問い合わせ

株式会社アークス不動産コンサルティング（大阪市中央区伏見町4-2-6）

E-mail info@arc-s.biz

T E L 06-6227-8555

株式会社アークス不動産コンサルティングのホームページは以下をご覧ください。

<https://www.arc-s.biz>

■本リリースについての注意事項

本リリースは、当社独自の調査要領に基づき、可能な限り綿密に調査を行っておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。したがって、本リリース内容に基づき何らかのご判断される際にはご自身の責任にて行ってください。

本リリース内容にかかわる一切の権利は当社にあります。転載・複製・配布等の場合には当社へ事前の承諾が必要です。

以 上